



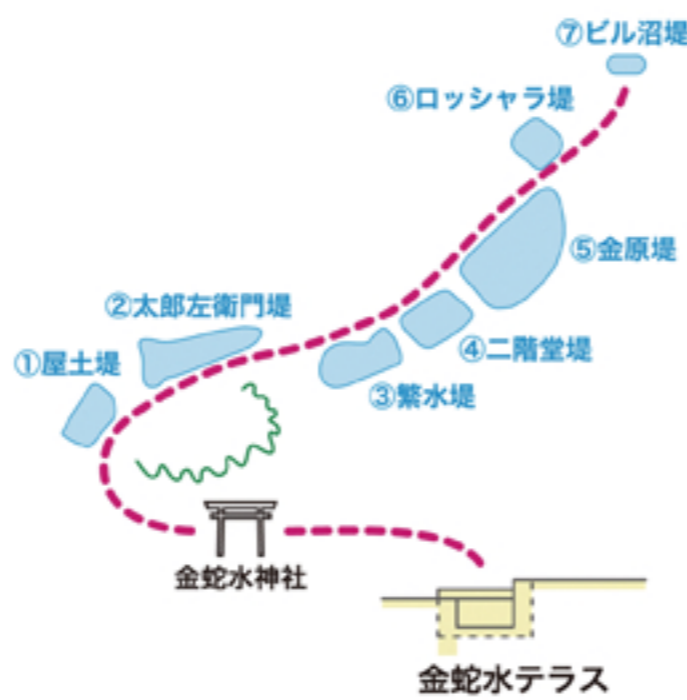
金蛇水テラス

金蛇水神社参拝者休憩所リノベーション設計競技

「金蛇水神社」は、商光繁盛、金運円満、厄除開運の神様として信仰されている、老千年余りの歴史を持つ大衆信仰の神社です。私たちはこの参拝者休憩所が、神社と来訪者をつなぐ場所になって欲しいと願い、境内を流れる金蛇沢の水源である「七ツ堤」が持つ「たまり」の要素を取り込もうと考えました。現在の休憩所は駐車場と境内の間にありますが、それらをつなぐ役目を果たしているとは言えない状況です。本提案では「金蛇水テラス」と呼ぶ、屋根がある藤棚状の空間を既存建物の周囲に添わせることで、各拠点へとつながる、人の流れをつくり出します。

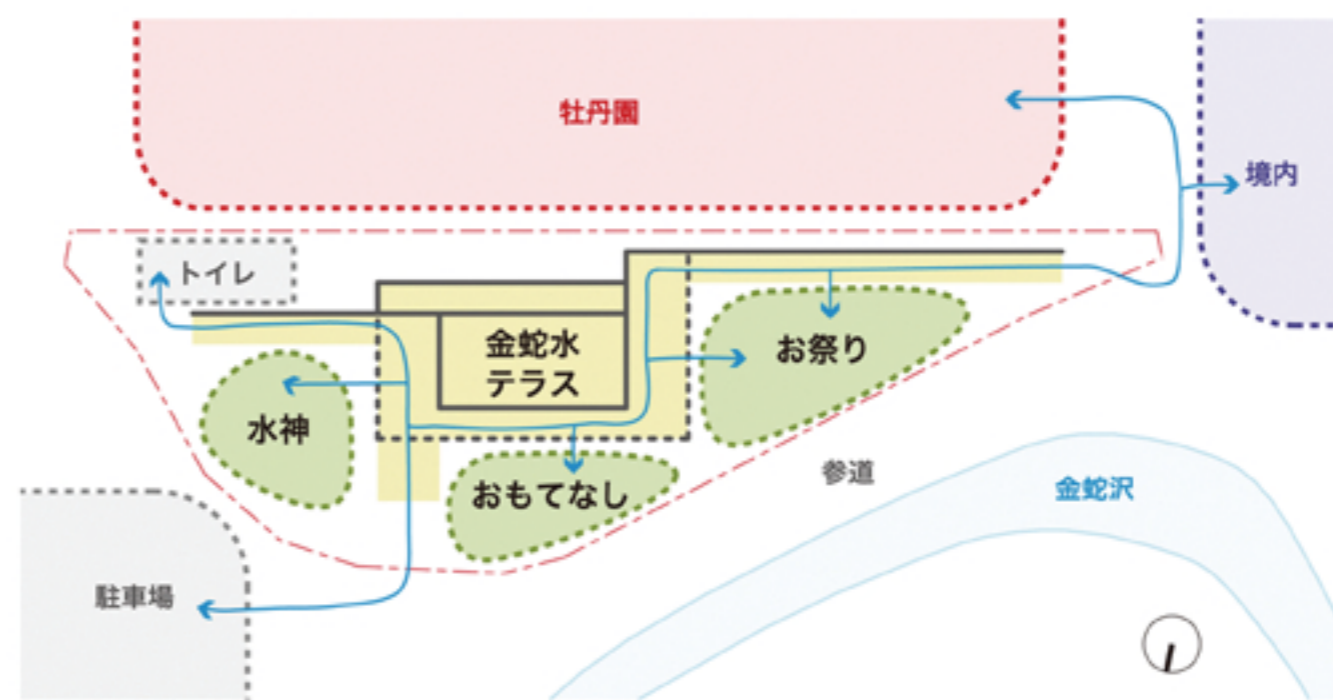
「テラス」は既存の広場の性格も明確します。「おもてなし広場」は来訪者を迎入れる場、「お祭り広場」は牡丹祭、例大祭、どんと祭などの際に屋台が出店し、御神火の場となります。「水神広場」は外で手打ちそばやコーヒーが楽しめる場です。提灯を吊るしたり、ポスターなどを掲示できるようにデザインされた「テラス」は、広場での活動をサポートします。また、「テラス」の一部は建具の開け閉めによって内部にも半外部にも変化するため、祭事と日常とで空間の使い方が大きく異なる神社特有の性質に合う空間構成といえます。半外部のテラス席やそば打ちコーナーを持つ小さなカフェが、状況に応じて大きなカフェに変貌します。「テラス」は熱環境のバッファにもなるため、空調エリアを最小限に抑えることができ、省エネルギー化につながります。また、「テラス」は既存建物に対し、構造的な補強の役目も担うと考えています。

神社と参拝者をつなぐ「テラス」は、「七ツ堤」のような、ゆったりとした「たまり」をこの地に生み出します。古くからの参拝者に加え、今後増えるであろう海外からの観光客もおおらかに包み込むことができる場にしていきたいと考えています。



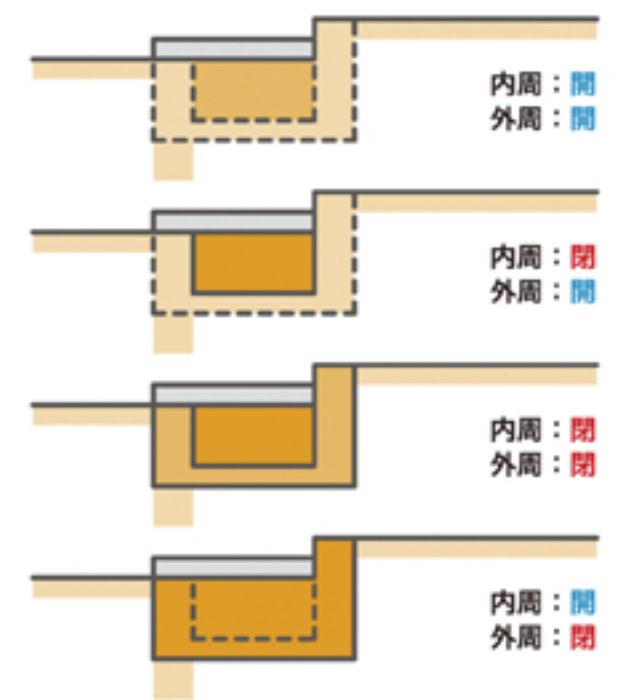
七ツ堤

境内を流れる金蛇沢の水源となっている「七ツ堤」が神社の西側にあります。金蛇水といえば、牡丹より「七ツ堤」を話題にする人もいるほどです。古くから水に関わる神として信仰されてきた、この神社とは切っても切れない関係にある「七ツ堤」が持つ「たまり」の要素を本計画に取り込みます。



テラスと広場

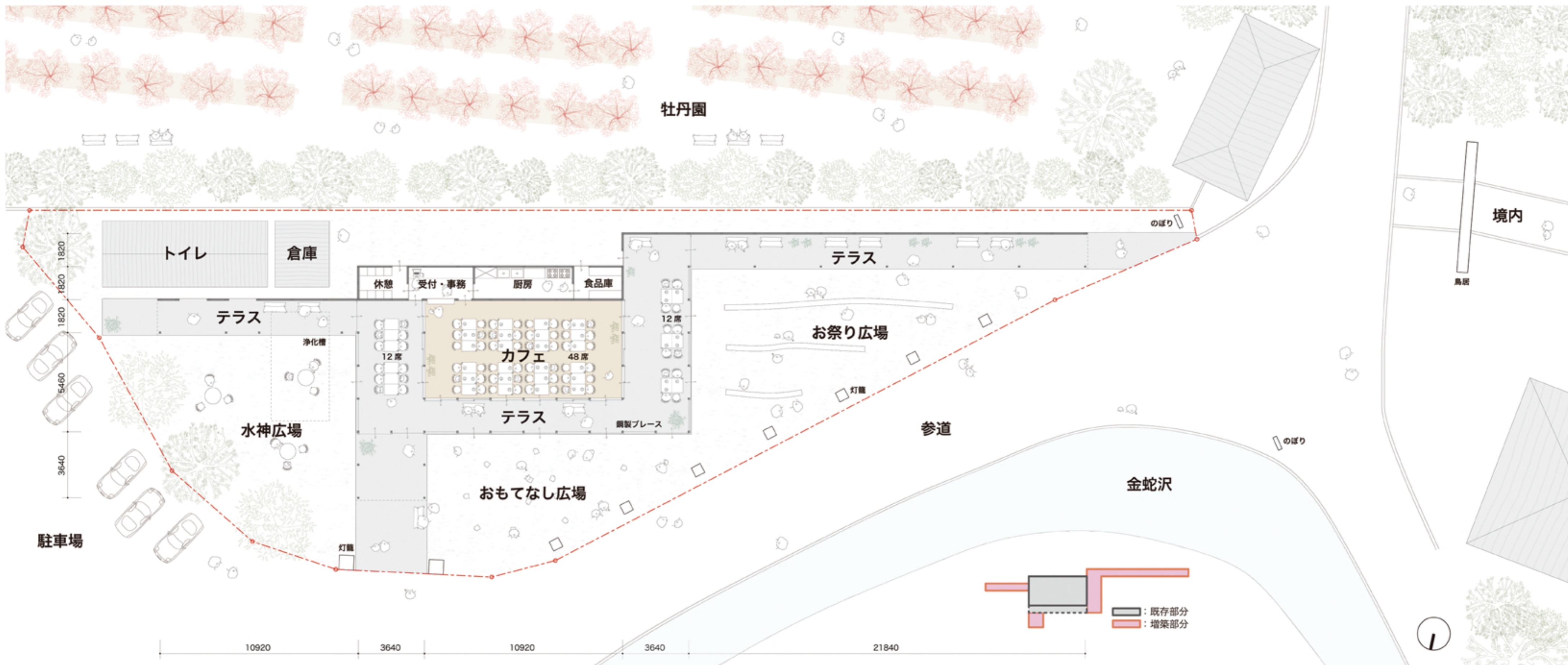
「テラス」は参拝者が神社により親しんでもらうことができる「たまり」の場所です。参拝者は雨に濡れることなく、各拠点へ行き来することが可能となります。また、「テラス」によってつくり出された3つの広場は、神社にまつわる活動や祭事を支える場として機能します。



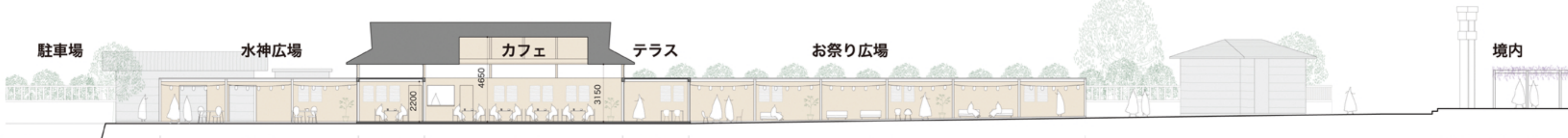
ハレとケ

「テラス」の内周と外周の建具を開け閉めることで、空間が伸び縮みします。祭事の際は建具を開け、広場を含めて大きく使い、日常では建具を閉め、適切な大きさに使うことができます。そのような使い方は熱環境の観点からも合理的で、省エネルギー化を図ることが可能となります。

面積表 (m ²)		建築面積	
コア	59.62	建築面積	201.80
テラス(内部)	86.12	延床面積	172.25
休憩	4.97		
受付・事務	6.63	既存面積	132.50
厨房	9.94	内部増築面積	39.75
食品庫	4.97	内部増築面積	72.87
小計	172.25		
テラス(外部)	72.87		
合計	245.12		



配置図兼平面図 S=1/150



断面図 S=1/150